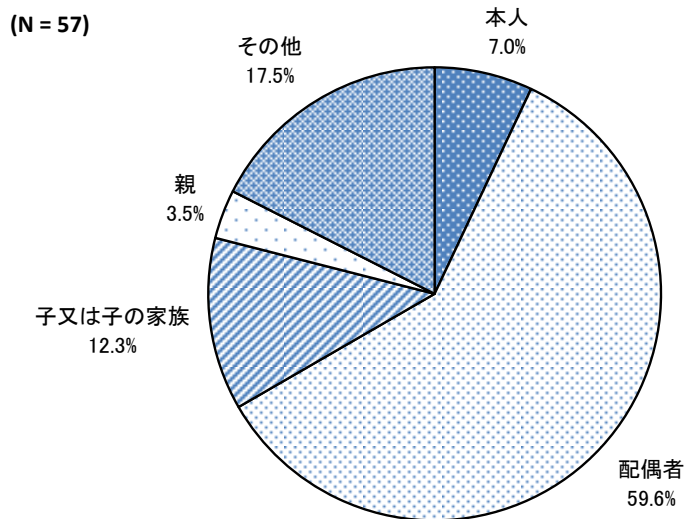


(2) 本人・家族調査 (調査票C)

(2)-1 記入者について

「配偶者」が 59.6%と最も高く、次いで「その他」が 17.5%、「子又は子の家族」が 12.3%となっている。



その他

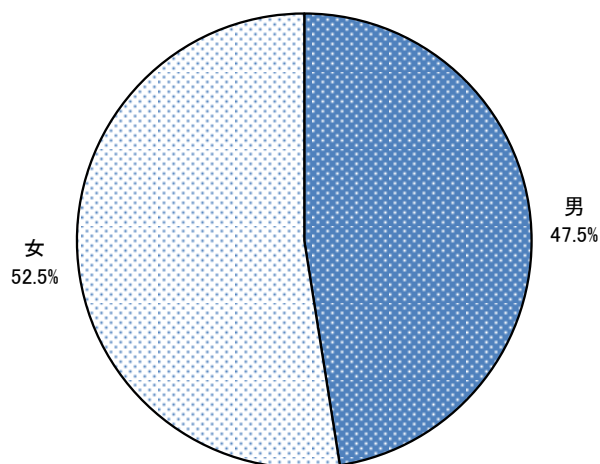
- ・ 姉 (3 件)
- ・ 前職場の同僚
- ・ 義妹
- ・ 兄嫁
- ・ 中核支援者
- ・ 施設関係者 (本人が手が麻痺しており家族も多忙の為代筆致します。)
- ・ 施設長
- ・ ケアマネージャー

(2)－2 本人について

問1 性別と生年月日を教えてください。

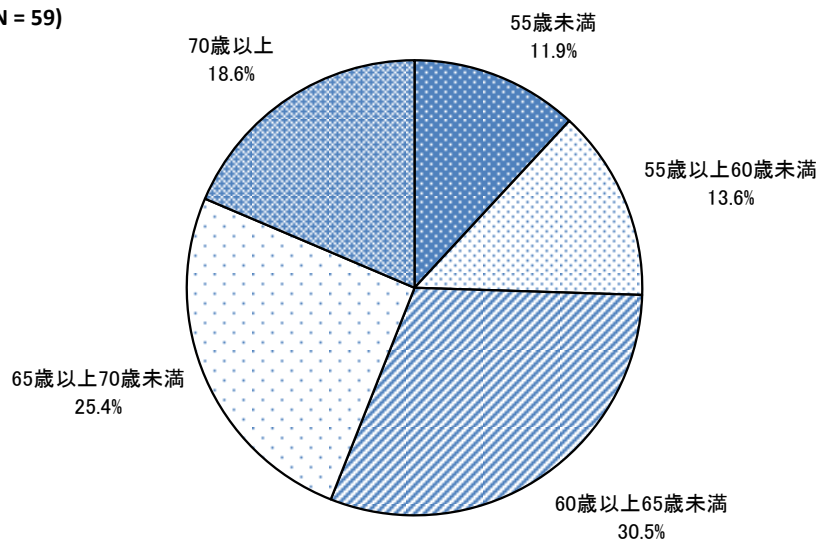
「男」は47.5%、「女」は52.5%であった。

(N = 59)



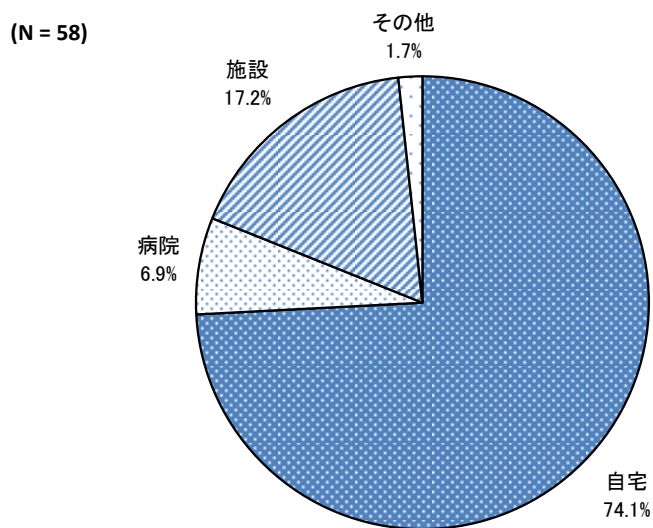
現在の年齢は「60歳以上65歳未満」が30.5%と最も高く、次いで「65歳以上70歳未満」が25.4%、「70歳以上」が18.6%となっている。

(N = 59)



問 2 現在の住まいを教えてください。(該当するものに○をつけてください。)

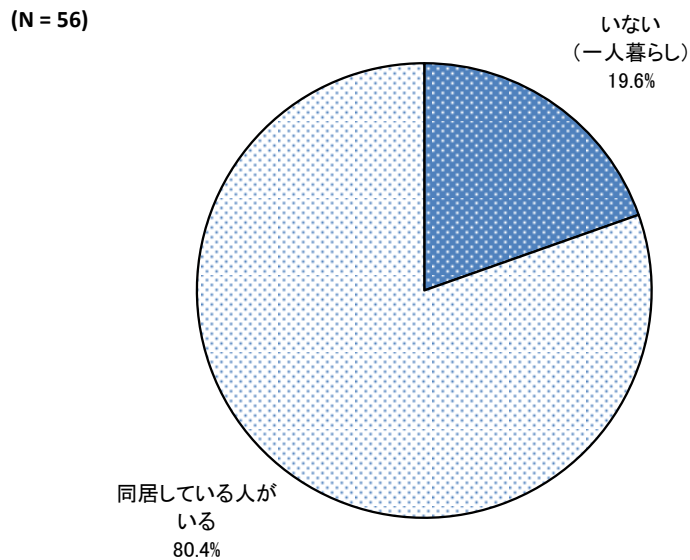
「自宅」が 74.1%と最も高く、次いで「施設」が 17.2%、「病院」が 6.9%となっている。



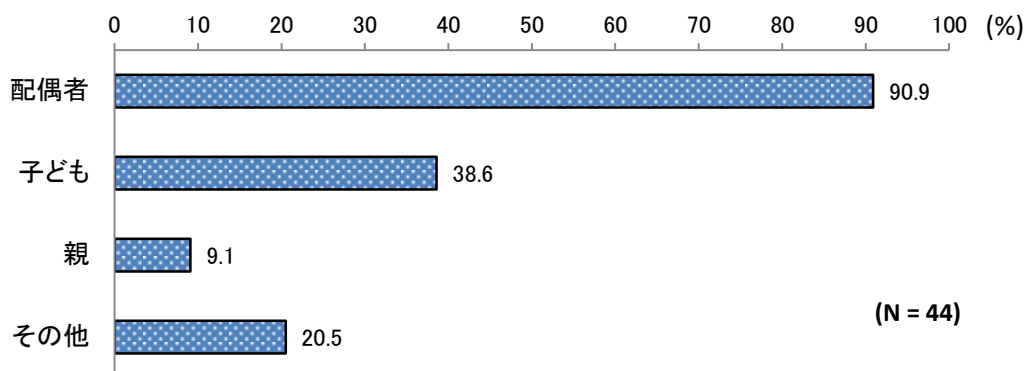
問3 同居している方はいますか。

「2.同居している人がいる」場合には、同居者すべての番号に○を付け、人数を記入してください。

「いない(一人暮らし)」は19.6%、「同居している人がいる」は80.4%であった。



同居している人は「配偶者」が90.9%と最も高く、次いで「子ども」が38.6%、「その他」が20.5%となっている。

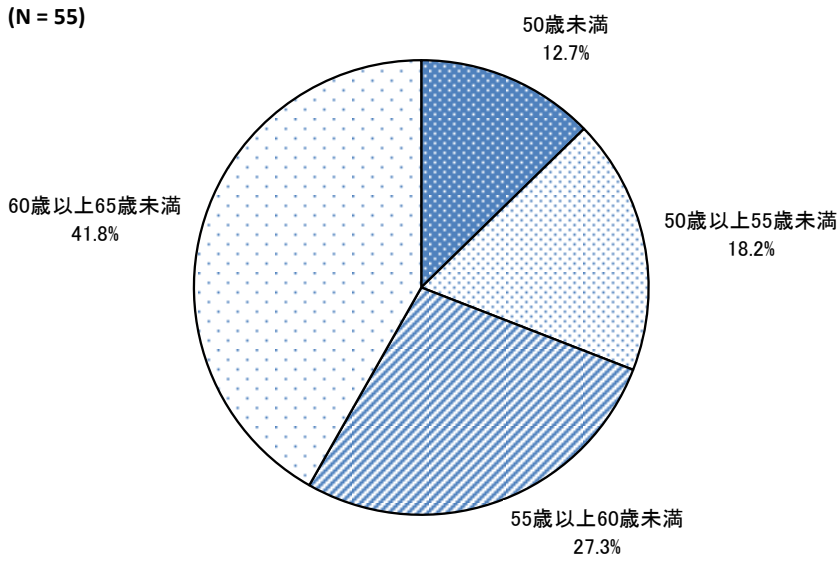


その他

- ・義母 (3件)
- ・グループホーム
- ・弟
- ・住民票上は長女と同居。但し今は特養に入所。
- ・施設であれば、入居者8人～程度
- ・孫 (19才)
- ・妹・姉

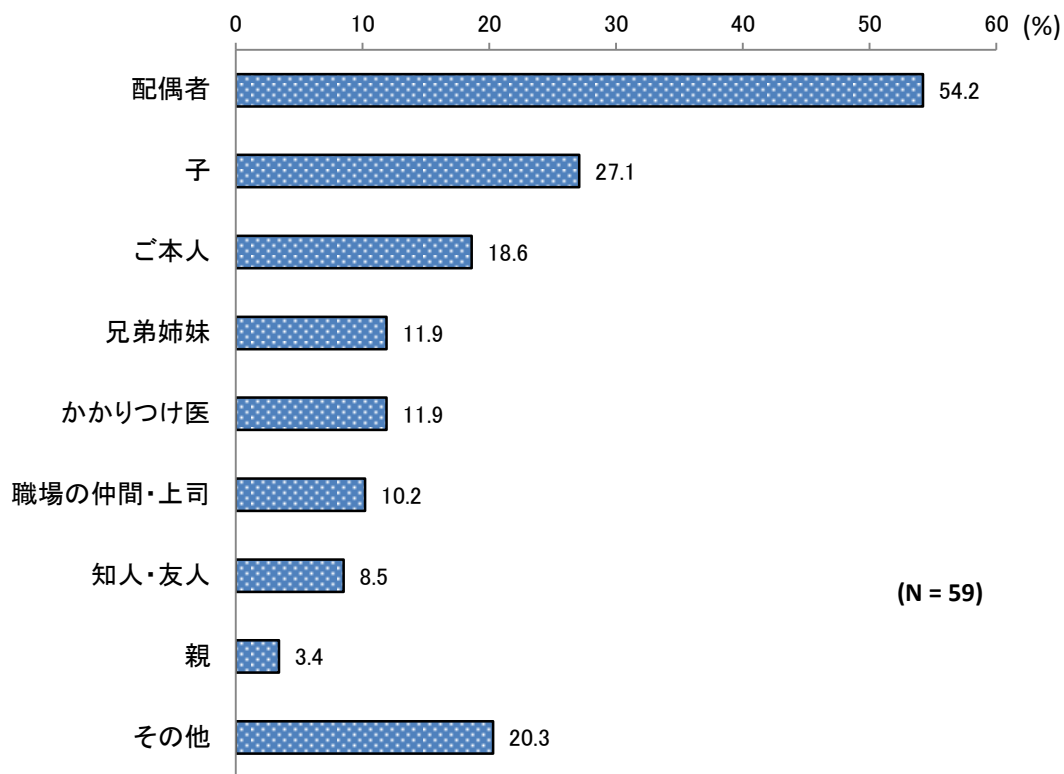
問 4 認知症に気づいたとき、ご本人は何歳でしたか。

「60歳以上 65歳未満」が 41.8%と最も高く、次いで「55歳以上 60歳未満」が 27.3%、「50歳以上 55歳未満」が 18.2%となっている。



問 5 最初に気づいたのはどなたですか。あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

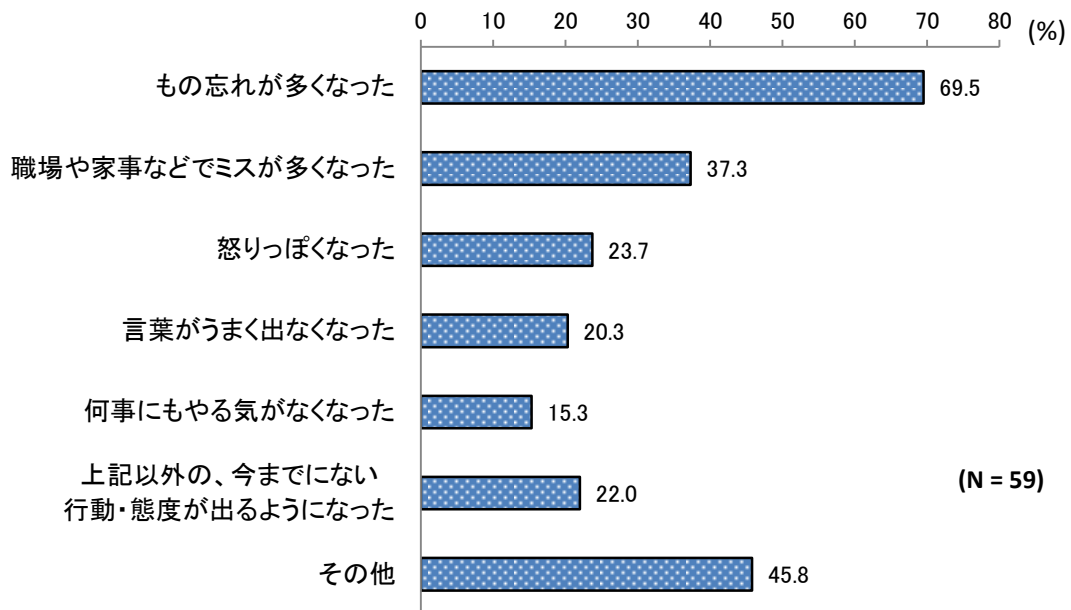
「配偶者」が 54.2%と最も高く、次いで「子」が 27.1%、「その他」が 20.3%となっている。



- その他**
- ・入院した病院の医師 (2 件)
 - ・担当医
 - ・病院にて
 - ・長男の嫁
 - ・兄嫁
 - ・親類
 - ・病院看護師
 - ・不明
 - ・警察

問 6 最初に気づいた症状は何ですか。あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「もの忘れが多くなった」が 69.5%と最も高く、次いで「その他」が 45.8%、「職場や家事などでミスが多くなった」が 37.3%となっている。



その他

- ・ 食事を作る時間が長くなった。メモするが良く忘れていた。
- ・ くも膜下の後遺症
- ・ 脳幹梗塞の後遺症
- ・ 脳梗塞後の回復が遅いことから
- ・ 暴言、暴力がひどく、すっかり性格が変化。同じ物を買ったり、集めたりする。
- ・ 大切なもの（通帳など）をなくす。うそを言う。約束が守れない。
- ・ 自身でももの忘れ症状が気になり、受診した
- ・ 食事を作れなくなった
- ・ お金の管理ができなくなった
- ・ 車庫入れて、車をブロックに打ち付け車が使えなくなり、歩いて 10 分の距離が歩けず荷物も持てないので整形外科受診。運転中赤信号で渡る等々ありましたが認知症とは思わず、うつ病かなと思っていた。
- ・ 段取、組立等が苦手になった
- ・ 全部少しずつ変化していました
- ・ 最初はなにかがおかしいと思った。○をしたものは途中で気付いた。
- ・ お金の無心
- ・ 便失禁。身の回りの事がきちんと出来ない。タバコの本数が増える。自宅内を歩き回る。玄関の出入りをくり返す。妻のあとをついてまわる。ひとりになると用意しておく食事が食べられない。自身の言動を覚えていない。
- ・ 道に迷う（車の運転）。仕事に行けなくなった（うつ）。
- ・ 自分の名前を書けなくなった

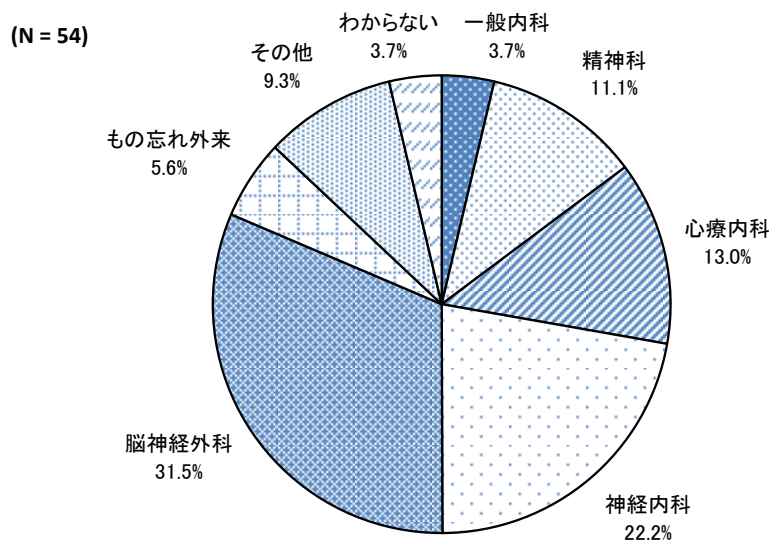
その他

- ・新しい事が覚えられなくなってきた
- ・脳梗塞に伴う高次脳機能障害
- ・話しのつじつまが合わなくなる。片付け、掃除をしても、キレイにできない、ならない。
- ・立ち上れないのに立ち上ろうとして転倒
- ・何度も同じことを話す
- ・服が TPO に合わない、同じ服ばかり着る
- ・トイレの場所がわからなくなった。水の止め忘れが多くなった。
- ・同じことを何回も確認する

問7 ご本人が最初に受診されたのはいつですか。

また、受診された医療機関の診療科や外来ではまる番号1つに○をつけてください。

「脳神経外科」が31.5%と最も高く、次いで「神経内科」が22.2%、「心療内科」が13.0%となっている。

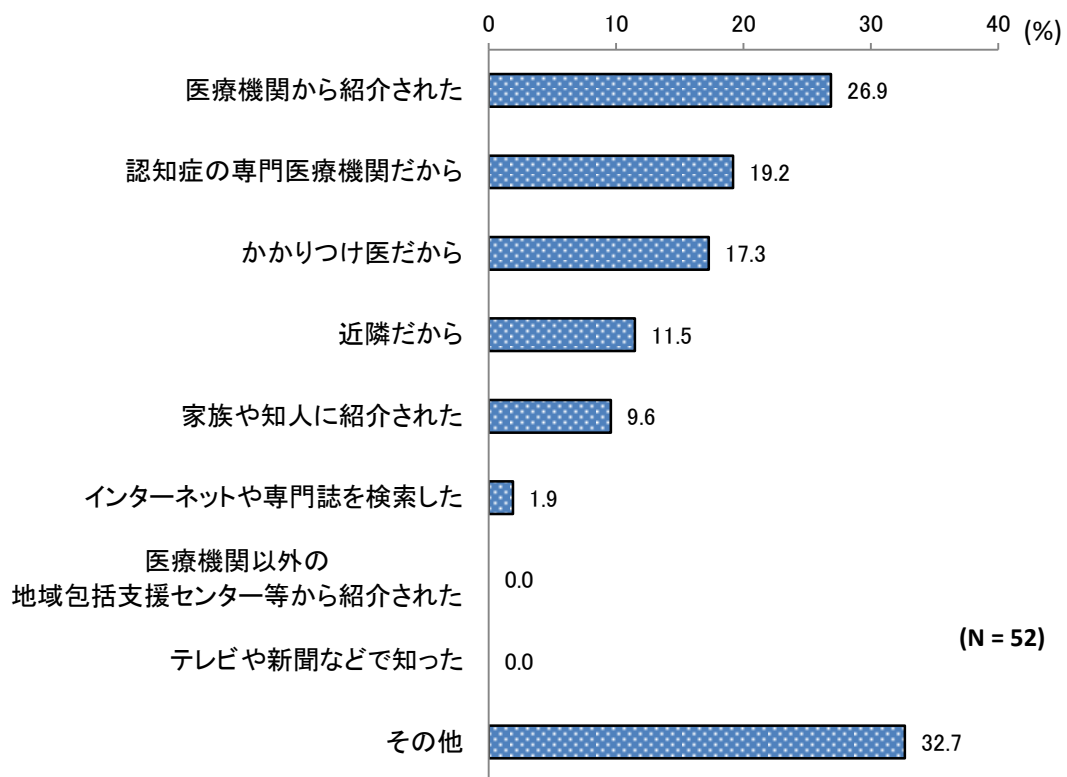


その他

- ・救急搬送された
- ・脳ドック
- ・脳神経内科。但し整形外科（自転車で転倒）中に脳梗塞を発症。
- ・脳外科
- ・リハビリ科

問 8 問 7 で受診した医療機関を選んだ理由は何ですか。あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「その他」が 32.7%と最も高く、次いで「医療機関から紹介された」が 26.9%、「認知症の専門医療機関だから」が 19.2%となっている。

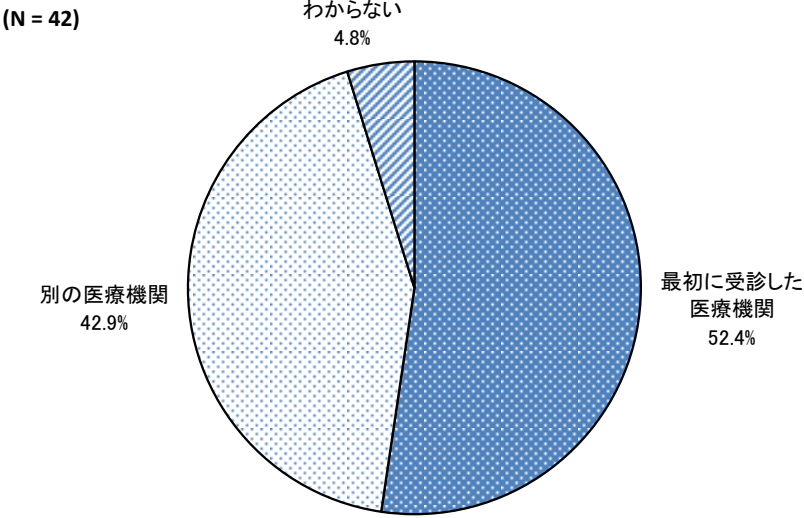


その他

- ・救急搬送されたため (2 件)
- ・自転車での転倒時に救急で搬送された病院だったから
- ・もの忘れが多くなり、脳神経外科ということで
- ・意識が無かったから (脳梗塞)
- ・本人に病識はないが、人間ドッグを毎年受診していたので、それを手がかりに本人の受診に結びつけた
- ・入院施設があるから
- ・整形外科を受診して、心療内科を紹介された
- ・総合検査の結果診断された。職場が病院を含む施設であったため。
- ・もの忘れ外来科があったから
- ・以前に通院していたので
- ・母親が認知症の病院に通っていたのでその病院で
- ・仕事でミスをする→職場から様子がおかしいと連絡を受ける→本人はうつ状態だった為、近くの心療内科へ行き、うつと診断された
- ・はじめはうつ病を疑って、その病院に通院していたため
- ・脳外科の個人病院 (医院) だったので
- ・リハビリ入院中
- ・警察からの紹介

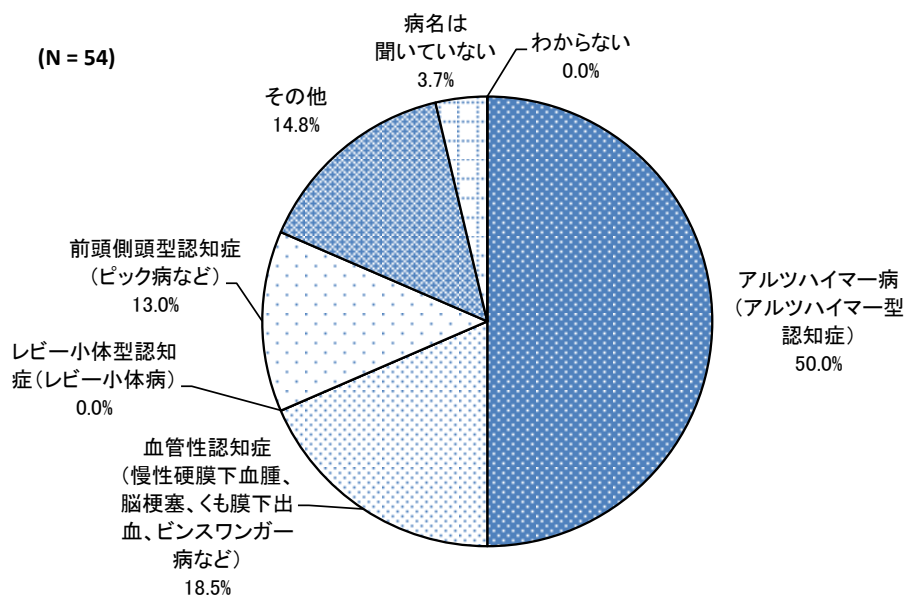
問9 最終的に「認知症」と診断された時期はいつですか。
また、その医療機関はどこでしたか。あてはまる番号1つに○をつけ、医療機関名を記載してください。

「最初に受診した医療機関」が52.4%と最も高く、次いで「別の医療機関」が42.9%、「わからない」が4.8%となっている。



問 10 認知症の具体的な病名は何とされていますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

「アルツハイマー病(アルツハイマー型認知症)」が 50.0%と最も高く、次いで「血管性認知症(慢性硬膜下血腫、脳梗塞、くも膜下出血、ピンスワンガー病など)」が 18.5%、「その他」が 14.8%となっている。

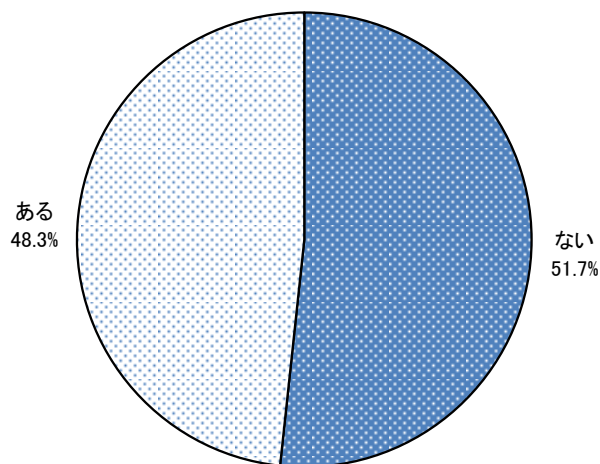


- その他
- ・高次脳機能障害 (3件)
 - ・若年性認知症
 - ・前頭萎縮・認知症
 - ・頭部外傷にて減圧開頭手術実施
 - ・アルコール性認知症
 - ・神経梅毒

問 11 ご本人に認知症以外の病気はありますか。

「ない」は 51.7%、「ある」は 48.3%であった。

(N = 58)

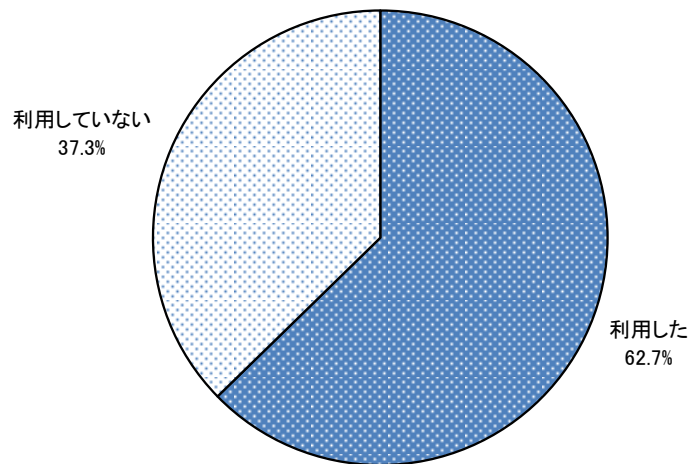


具体的な病名	
・糖尿病 (7 件)	・急性胆のう炎
・高血圧 (5 件)	・高尿酸
・緑内障 (2 件)	・総胆管結石
・高脂血症 (2 件)	・尿路感染症
・高コレステロール (2 件)	
・左半身麻痺有り	
・骨粗しょう症	
・痔	
・うつ病	
・躁うつ病	
・心筋梗塞	
・ベーチェット病	
・脳幹梗塞後遺症	
・脳梗塞	
・糖尿病予備	
・前立腺がん	
・左手麻痺	
・水泡性類天疱瘡	
・腎臓病	
・アルコール依存症	

問 12 職場や地域の相談窓口を利用しましたか。

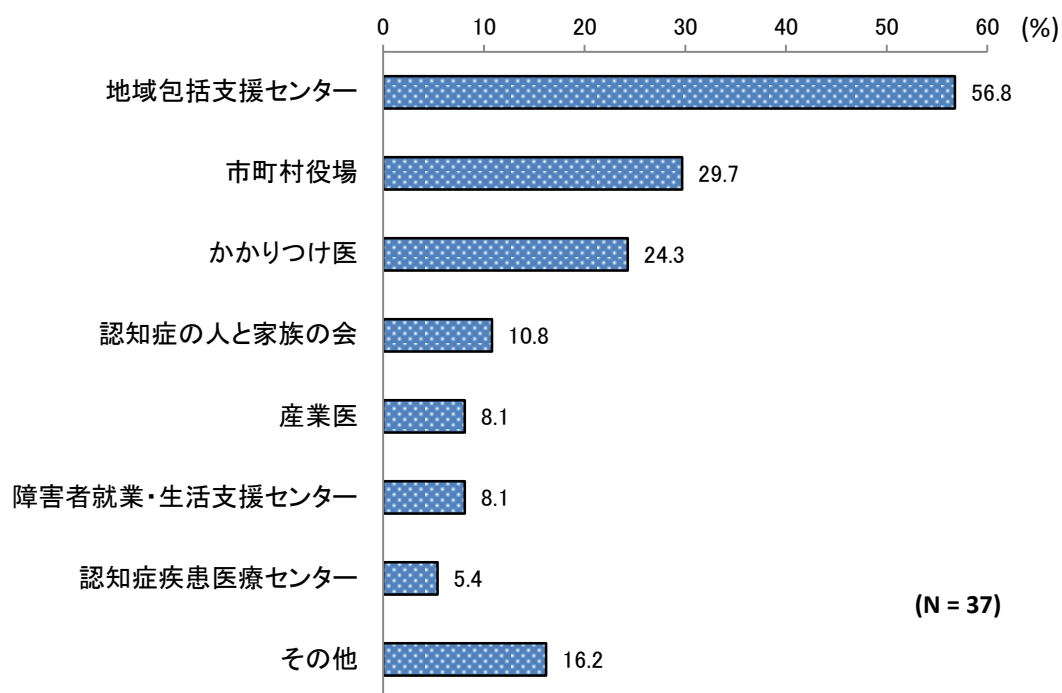
「利用した」は 62.7%、「利用していない」は 37.3%であった。

(N = 59)



問 13 問 12 で「1. 利用した」と回答された場合、利用した機関はどこですか。

「地域包括支援センター」が 56.8%と最も高く、次いで「市町村役場」が 29.7%、「かかりつけ医」が 24.3%となっている。

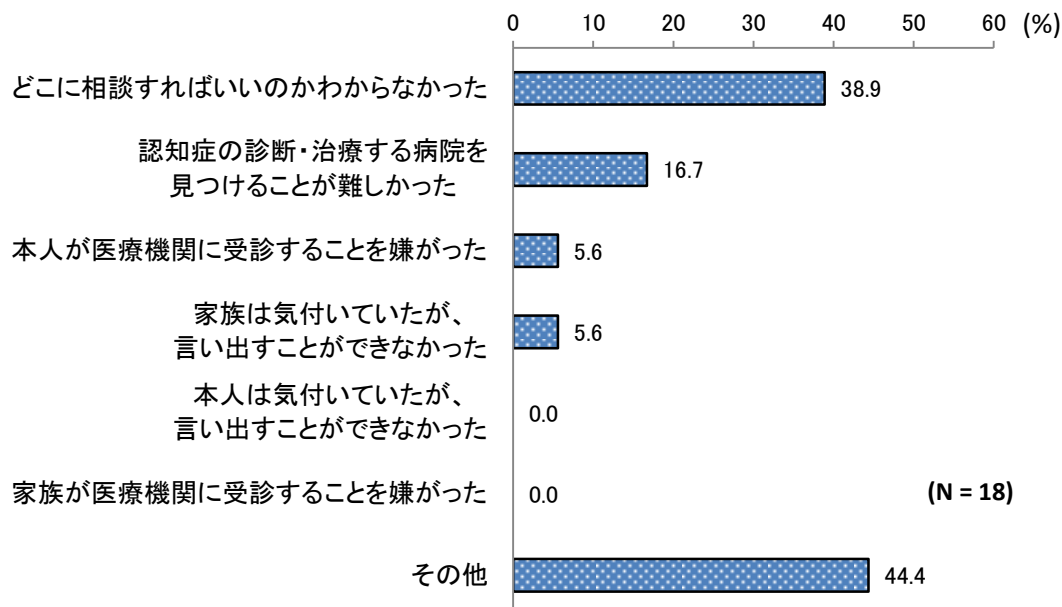


その他
・ケアマネージャー (2 件)
・知人
・職場の上司
・会社の人事部

問 14 問 12 で「2. 利用していない」と回答された場合、利用しなかった理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください。)<複数回答>

「その他」が 44.4%と最も高く、次いで「どこに相談すればいいのかわからなかった」が 38.9%、「認知症の診断・治療する病院を見つけることが難しかった」が 16.7%となっている。

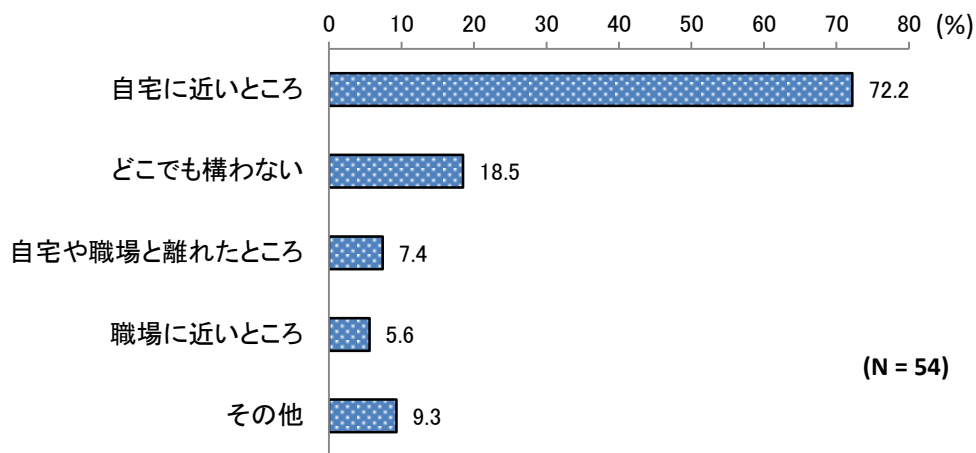


その他

- ・現段階では、薬もなく見守る事が一番だと伝えられた為
- ・主介護者となる私（妻）が他に相談しても解決が無いと思われた。妻：介護認定調査員の職（14年）
- ・医療機関を受診し相談をしていますので
- ・入院先で対応してくれた
- ・医療機関を受診することで利用する必要がなかった
- ・困っていなかった
- ・刑務所に入っていた為
- ・直接病院へ

問 15 相談はどのような場所で受けたいですか。(あてはまるものすべてに○を付けてください。)<複数回答>

「自宅に近いところ」が 72.2%と最も高く、次いで「どこでも構わない」が 18.5%、「その他」が 9.3%となっている。



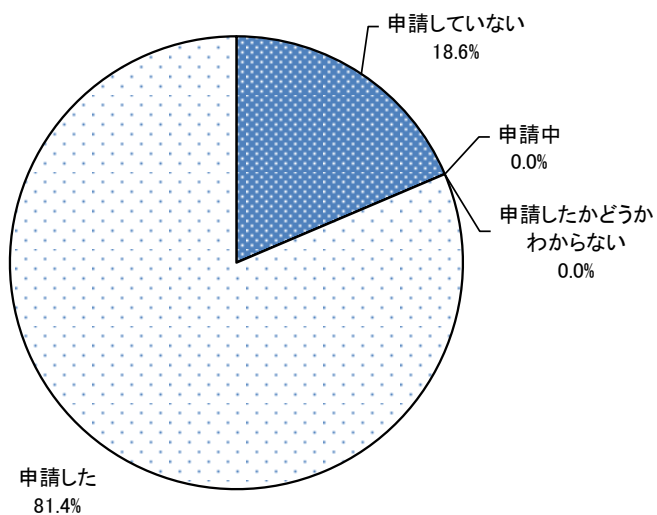
その他
・電話等で調べて
・本人のいない所。本人をはずして。
・専門のところで
・病院
・医療機関

(2)－3 介護保険の申請や利用状況について

問 16 ご本人は介護保険の申請をしていますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

「申請した」は 81.4%、「申請していない」は 18.6%であった。

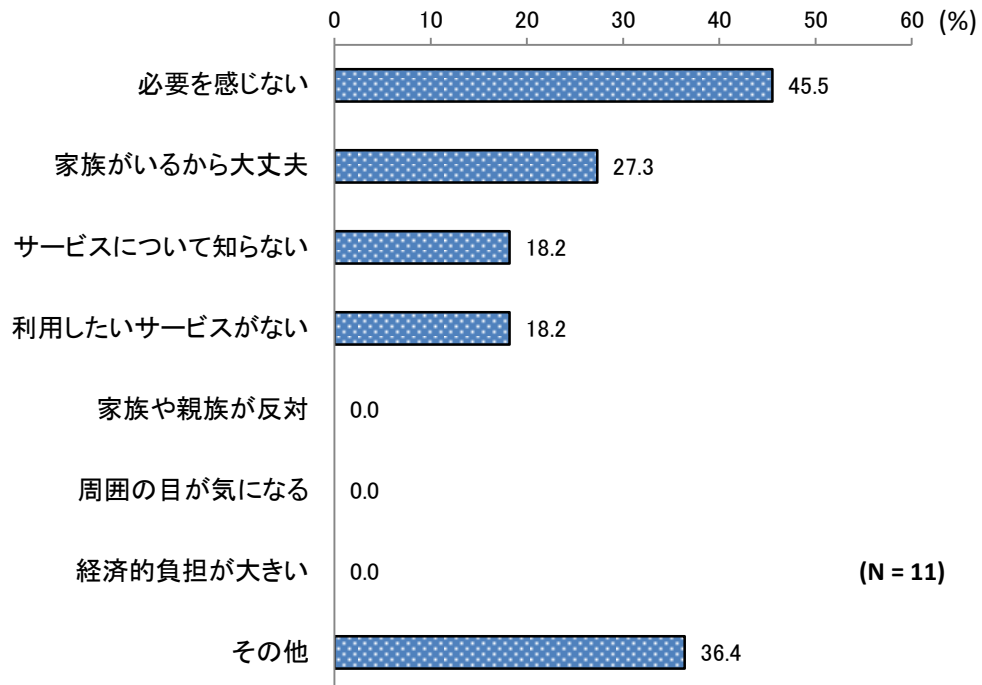
(N = 59)



問 17 問 16 で「1.申請していない」と回答された場合、その理由は何ですか。

あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「必要を感じない」が 45.5%と最も高く、次いで「その他」が 36.4%、「家族がいるから大丈夫」が 27.3%となっている。

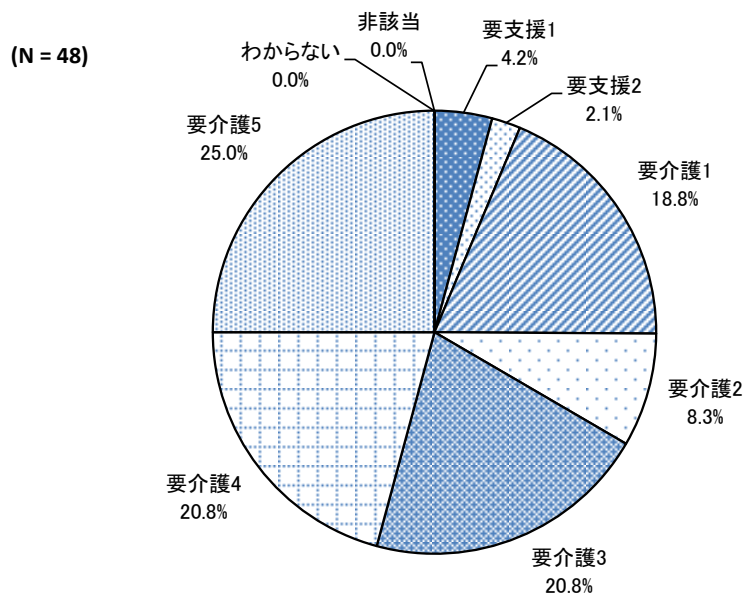


その他

- ・時期がきたら申請する
- ・年齢はまだいってないからです
- ・有効期間終了後更新せず
- ・当てはまらない

問 18 問 16 で「4.申請した」と回答された場合、ご本人の要介護度は何ですか。
あてはまる番号1つに○を付けてください。

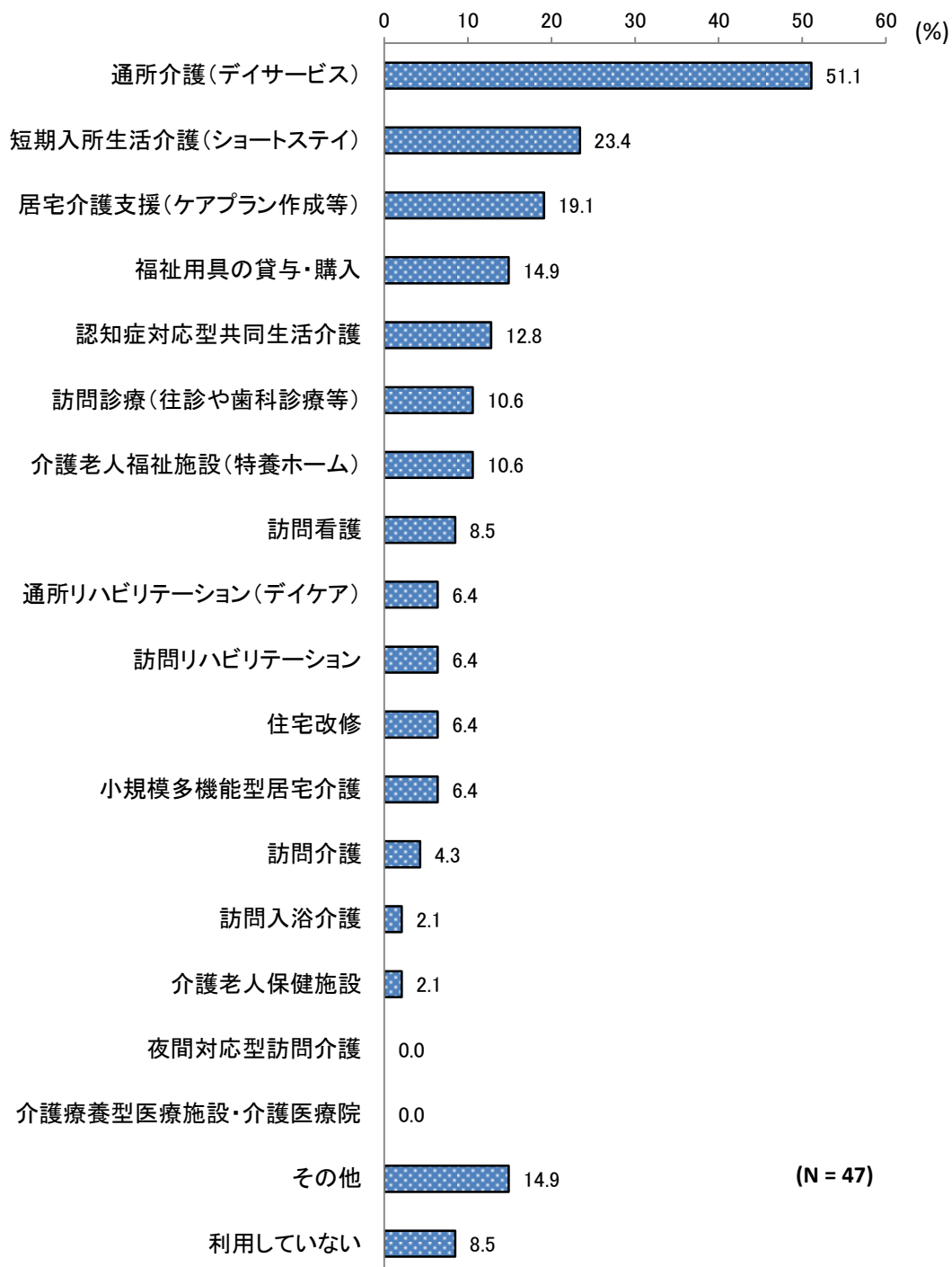
「要介護 5」が 25.0%と最も高く、次いで「要介護 3」及び「要介護 4」が 20.8%となっている。



問 19 問 16 で「4.申請した」と回答された場合、現在利用しているサービスは何ですか。

あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「通所介護(デイサービス)」が 51.1%と最も高く、次いで「短期入所生活介護(ショートステイ)」が 23.4%、「居宅介護支援(ケアプラン作成等)」が 19.1%となっている。



その他

- ・障害サービス、生活介護
- ・手すり、車いす
- ・グループホーム入所
- ・病院に入院している
- ・病院に入院しての治療
- ・デイサービス、小規模多機能型居宅介護を利用して、現在は特養ホームに入所しています
- ・デイサービスの送迎までの1時間、自宅にヘルパーさんと呼んでいる

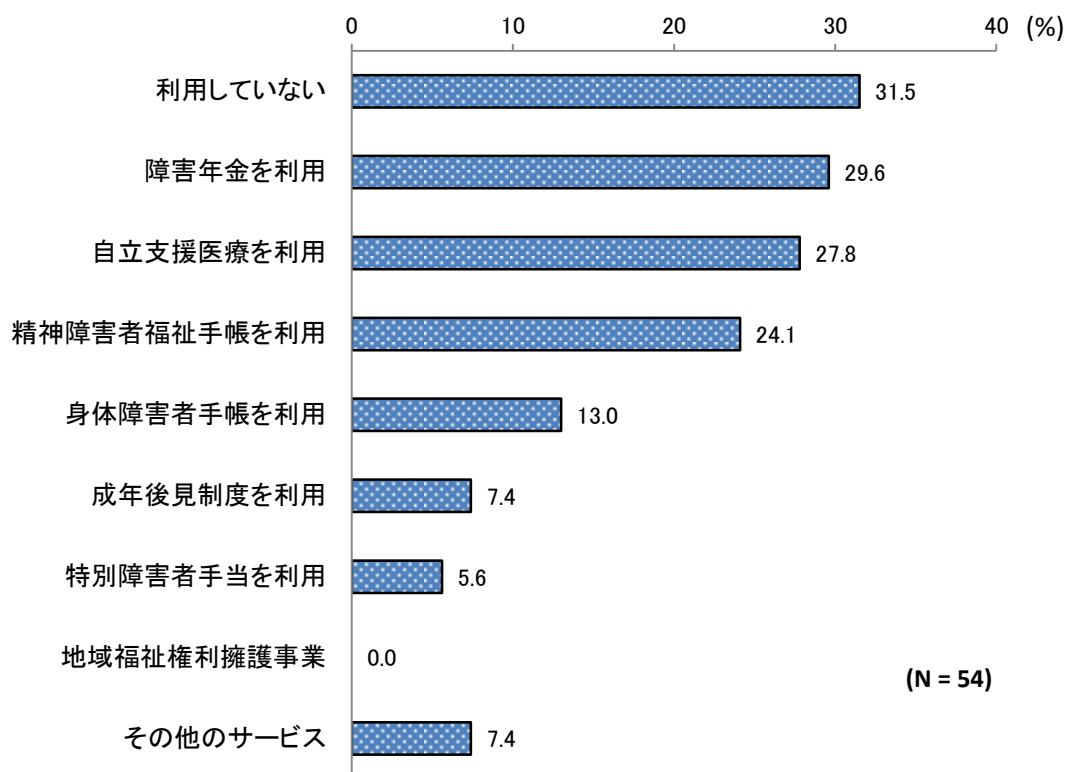
利用していない理由

- ・本人の拒否
- ・今は必要なし
- ・かかりつけ病院のデイケアを利用している為
- ・申請したばかりで、どのようなサービスがあるか、まだよくわからない。本人も行ってくれるか疑問（高齢者ばかりのイメージ）

(2)－4 現在利用している公的なサービスの利用状況について

問 20 下記のサービスや支援について、あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「利用していない」が 31.5%と最も高く、次いで「障害年金を利用」が 29.6%、「自立支援医療を利用」が 27.8%となっている。

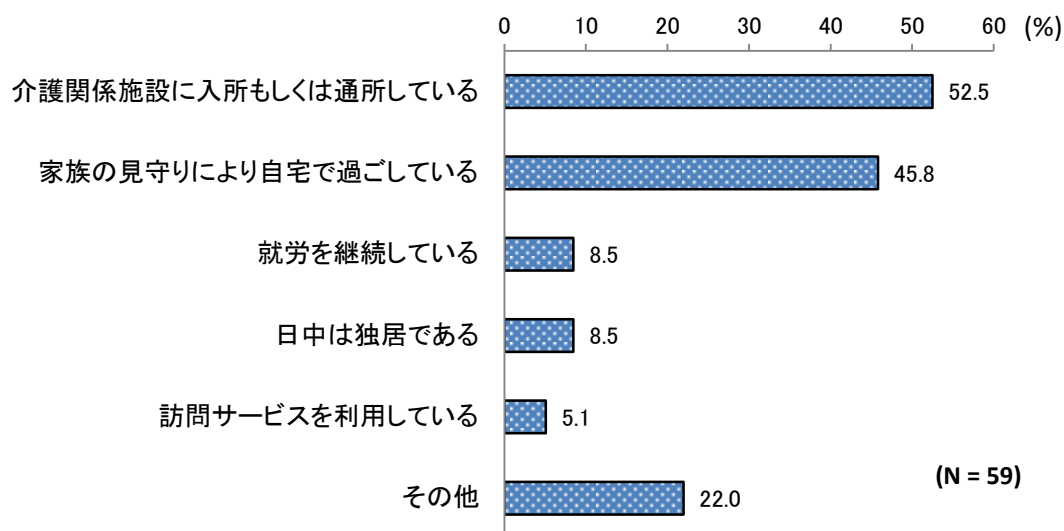


その他のサービス
・生活保護 (2 件)
・介護保険サービス
・老齢年金

(2)－5 日中の過ごし方について

問 21 現在の日中の過ごし方について、あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「介護関係施設に入所もしくは通所している」が 52.5%と最も高く、次いで「家族の見守りにより自宅で過ごしている」が 45.8%、「その他」が 22.0%となっている。



その他

- ・入院中 (2 件)
- ・病院に入院している。家、施設の介護が困難になったため。
- ・精神科病院に入院中
- ・グループホームに入所している
- ・特別養護老人ホームに入所している
- ・週 2 回のデイ利用以外は自宅
- ・週 4 日デイケアに通う
- ・自宅。家族 3 人全員認知症。
- ・散歩に行きたいがトイレ面が心配
- ・自身でリハビリを行っている。自身でできるボランティアに参加している。親の生活介助をしている。
- ・家族と買い物に行ったり映画を観に行ったりして外出している
- ・オレンジカフェを月に 1~2 回利用している

問 22 日中の過ごし方に関するご希望・ご意見をお願いします。

1. 毎朝 3 時に起きて困ります。
2. 父の年に合うサービスが欲しい。
3. ホームに一任している。
4. サービスの利用拒否の改善方法を知りたい。
5. デイサービス、ショートステイを利用させていただき、自宅での夫婦生活も大切にしていこうと思えます。
6. デイサービスに通っていて、助かっている。
7. 認知症に理解のある方々と時々会話ができるとうれしいです。
8. 今後、デイサービスを利用してほしい。(症状が進んだら)
9. 認知症と診断されて早い時期に若年性の方が集える場が欲しかった。デイサービス、ショートは、高齢の方が多くなじめなかった。
10. 家事従事
11. 精神障害者手帳を申請中。就労支援を利用してから一般企業等の就労を考えている為、今は家族が見守り家で過ごしています。
12. 入所している方が高齢なのと、本来無口でインドア派なので行事にも参加せず、1 日中部屋の中でテレビを見ています。その壁を破る方法は？
13. 入所を希望。(介護することが困難になっている為・限界)
14. 担当ケアマネージャーに連絡をしている。自分自身のため忘れてしまう事がないよう気をつけている。定期的に随時連絡をとるようにしていきたい。
15. 様々な体験と社会や人とのコミュニケーションが取れる様な過ごし方。又、一方、穏やかに日々を送れれば最良。
16. 動かない日々が続くと、足が動かなくなり固くなり移動困難になる為、リハビリ等、マッサージ等のケアは必要。
17. 本人が訪問系、通所ともサービス利用を嫌がり、利用が増やせません。家族の負担が大きいです。
18. 会社員だったため地域とのつながりもなく話す相手もいないため、また 60 代という事もあり老人会などサークルにも入りづらく、この年齢でも参加できるような場があると良いと思います。
19. デイサービスに行ってもらわないと仕事に行けない。
20. 施設で皆さんに見守られながら過ごせているので、また施設も家の近くですぐ行けるので助かっています。
21. 家で家族と過ごさせてあげたい。が、現実問題無理である。施設にいるので、そこで、できる限り人に囲まれていてほしい。温かい空間、場所であってほしい。苦慮なく過ごしてほしい。
22. 適度にベッドで休みながら過ごしたい。
23. デイサービスに水曜日、土曜日だけ行っているのですが、他の曜日も行けたら行かせたい。(日中はひとりなので…。)
24. デイサービス・ショート利用以外は、夫と過ごす。
25. 部屋にこもりきりになりがちだと思うので天気の良い日は外に出して散歩等をして頂きたい。

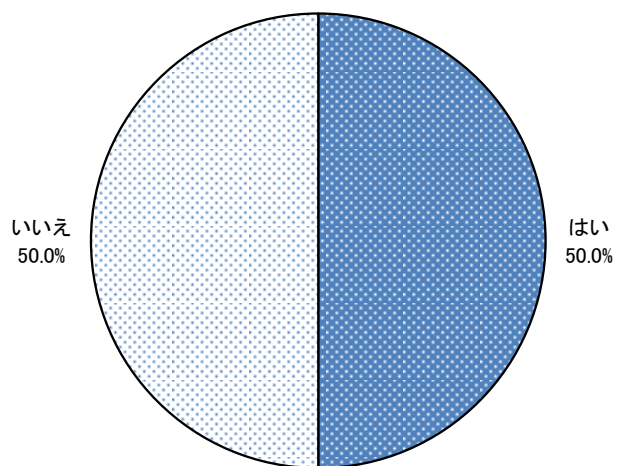
26. 本人も家族も、平日の日中に外出することは人目を気にして控えている。車も運転しないようにしているため、家にいるしかなく、体力も落ちてきている。私が週 3~4 日平日仕事のため、最近は土曜に加え、平日も 1 日施設通所を始めたが、送迎バスが家の前に停まることにやや抵抗がある。
27. 休みの日は徘徊している。

(2)－6 発症時の仕事の状況について

問 23 発症時、仕事に就いていましたか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

「はい」は 50.0%、「いいえ」は 50.0%であった。

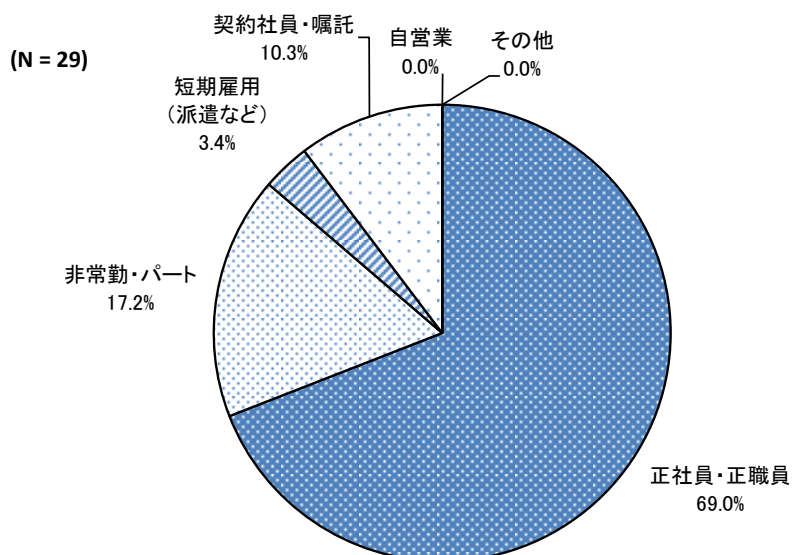
(N = 58)



問 24 問 23 で「1. はい」と回答された場合、勤務形態は何でしたか。あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

▶具体的な仕事内容についてもご記入ください。

「正社員・正職員」が 69.0%と最も高く、次いで「非常勤・パート」が 17.2%、「契約社員・嘱託」が 10.3%となっている。

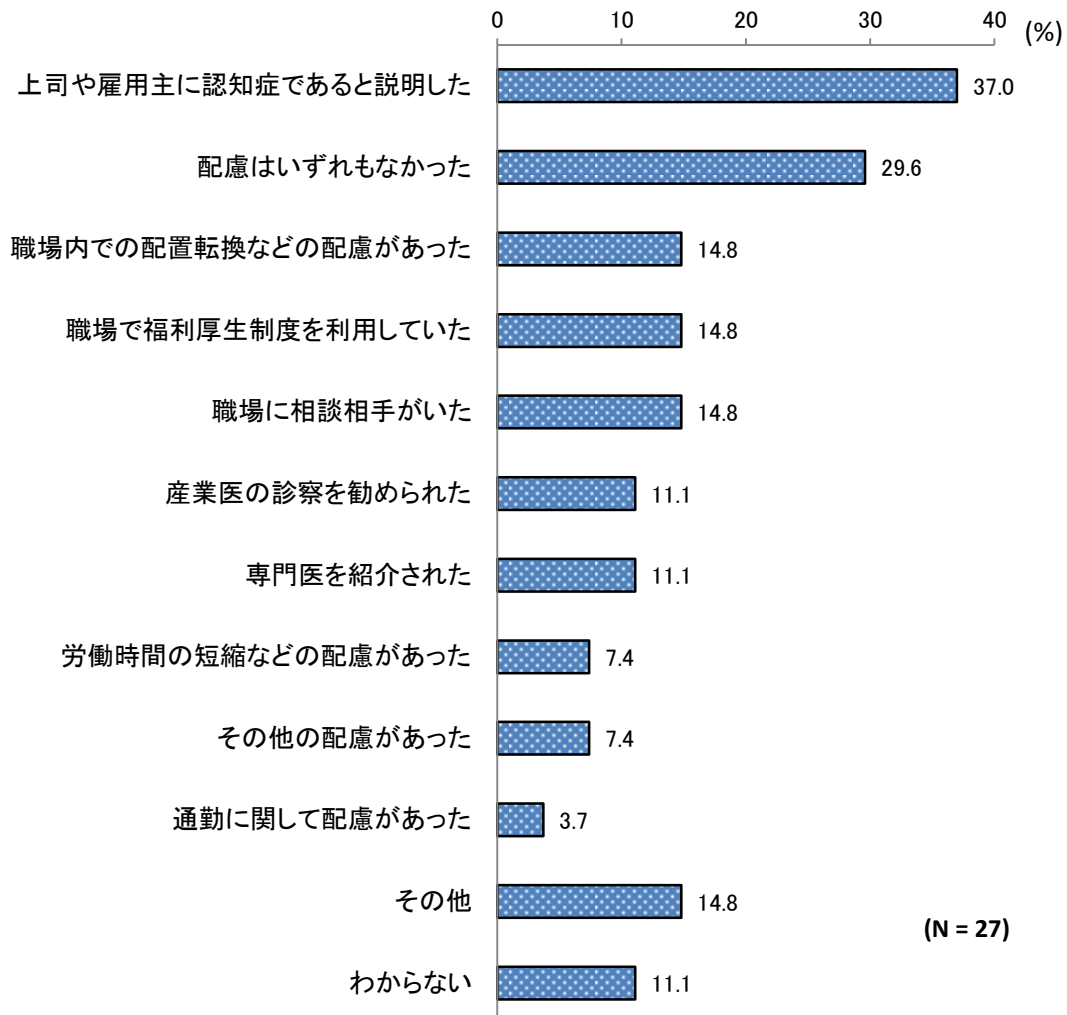


具体的な仕事内容

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ・介護職 (3 件) | ・専門学校技術職員 |
| ・病院の介護士 | ・看護師 |
| ・事務職 (2 件) | ・設備管理 |
| ・教員 (2 件) | ・トラック運転手 |
| ・タクシー運転手 | ・エンジニアリング会社 (研究開発) |
| ・生協の勧誘 | ・サービス業 (ホテルマン) |
| ・不動産業 | |
| ・スーパー店員 | |
| ・自動車組立工 | |
| ・会社員 (業務監査部) | |
| ・製造業 | |
| ・放射線技師 | |
| ・営業職 | |
| ・運送業 | |
| ・ピッキングなど | |
| ・掃除 | |
| ・官公庁、学校人事、土木技術者 | |
| ・建設業 | |

問 25 問 23 で「1. はい」と回答された場合、発症時の職場の対応や配慮について、あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「上司や雇用主に認知症であると説明した」が 37.0%と最も高く、次いで「配慮はいずれもなかった」が 29.6%、「職場内での配置転換などの配慮があった」「職場で福利厚生制度を利用していた」「職場に相談相手がいた」「その他」が 14.8%となっている。



その他の配慮

- ・出張が多かった為、その都度同じ部署の上司や同僚の見守りがあった
- ・大学の人事部だったため、併設する医院にて診察を受けた

職場で利用した福利厚生制度

- ・疾病手当
- ・保険給付金で入院生活した
- ・社内の健康相談室

職場の相談相手

- ・上司（2件）
- ・産業医、健康相談室の保健師
- ・物忘れについて相談し、担当箇所を1ヶ所だけにしてもらった
- ・人事部の担当者

その他

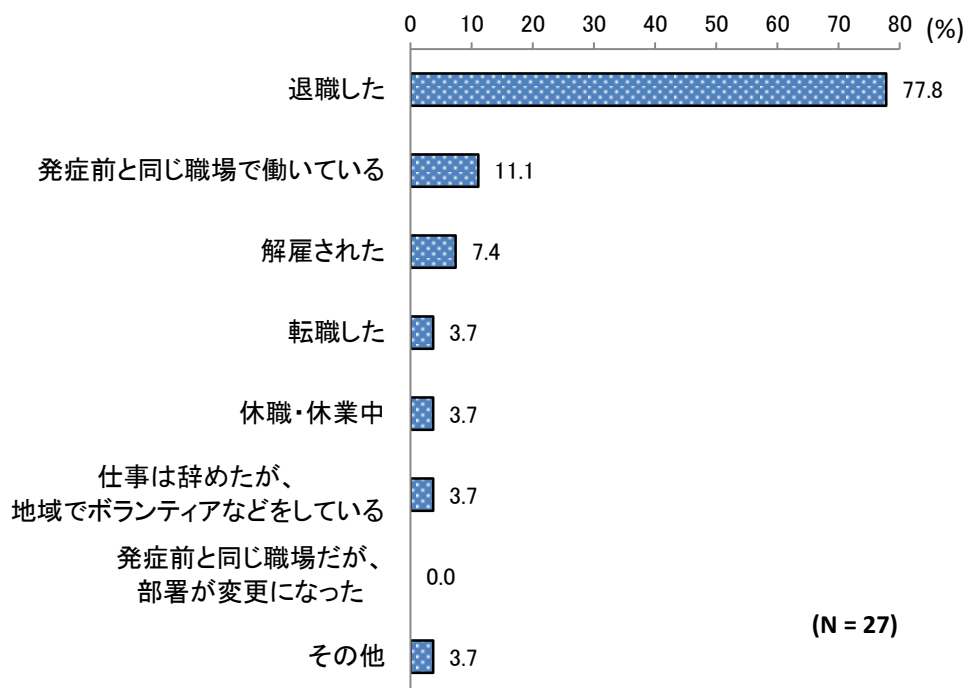
- ・退職した
- ・退職後の再雇用のため、周りに迷惑はかけられないと、自主退職をした
- ・仕事上の物忘れが多くなったことを指摘され（「〇〇さんは仕事できたのにどうしたの？」）、これで精神的に落ち込みうつに
- ・様子がおかしいと連絡は受けたが、その後の休職、退職など自分たち家族で決めて自ら動いた。特に相談することや、職場からの働きかけはなし。手続きさえすればすぐ対処してくれたと記憶している。

問 26 問 23 で「1. はい」と回答された場合、現在の仕事の状況について、あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「退職した」が 77.8%と最も高く、次いで「発症前と同じ職場で働いている」が 11.1%、「解雇された」が 7.4%となっている。

「発症前と同じ職場で働いている」と回答した人のうち、雇用形態について回答のあった 1 名は「常勤」であった。

「転職した」と回答した人のうち、雇用形態について回答のあった 1 名は「非常勤」であった。

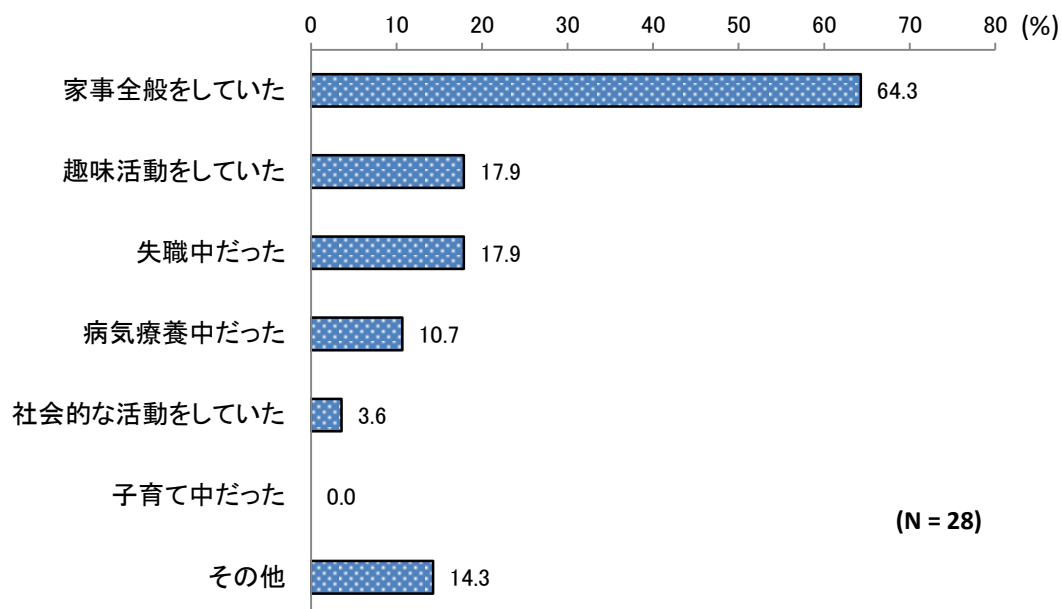


その他

・ 障害者支援センターに紹介された職場で働いている

問 27 問 23 で「2. いいえ」と回答された場合、発症時にしていたことについて、あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「家事全般をしていた」が 64.3%と最も高く、次いで「趣味活動をしていた」及び「失職中だった」が 17.9%となっている。



療養中だった病名

- ・アルコール中毒
- ・脳梗塞
- ・左足靭帯破断

その他

- ・料理が好きだった
- ・次の職場への就職準備中
- ・刑務所

問 28 就労継続に際し、企業等への要望はありますか。

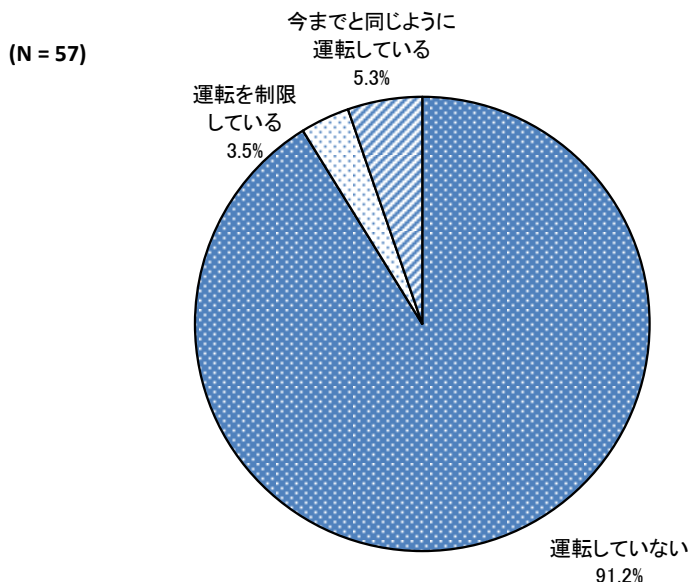
1. 認知症発症後仕事を続けるのはむずかしいと思います。本人のプライドもあると思いますので…。
2. 夫の会社は十分なサポートをしてくれ我が家は幸運な方だと思います。病気も個人差があるので何とも言えませんが、本人ができること、やりたいことを見守って頂ける環境があればと思います。
3. 定年退職だったのですが、もう少し非常勤とかアルバイトとかで働かせていただきたかったです。仕事に行かなくなってから急に病気が進行したように思います。
4. 特になく全面サポートして頂き安心して働いている。
5. 毎日通いたい。
6. 対象者本人が勝手に退職し、その後うつ病から認知症との診断を受けています。会社をやめてから病名がわかり、手の打ちようがありませんでした。社会的に家族の生活が成り立つ支援があれば助かります。
7. 病気に対する理解を望みます。
8. 本人の病状症状を理解してくれる場所。
9. もし、本人に働きたいという意欲があるならば、就労継続できるような仕組み、があればいいと思う。
10. 初期段階においては、簡単な作業を行うような部署への転属をするなど突然解雇といった事が無いよう配慮して欲しい。

(2)－7 現在の暮らしについて

問 29 現在の自動車運転について伺います。

運転の状況として、以下のあてはまる番号と記号に○を付けてください。

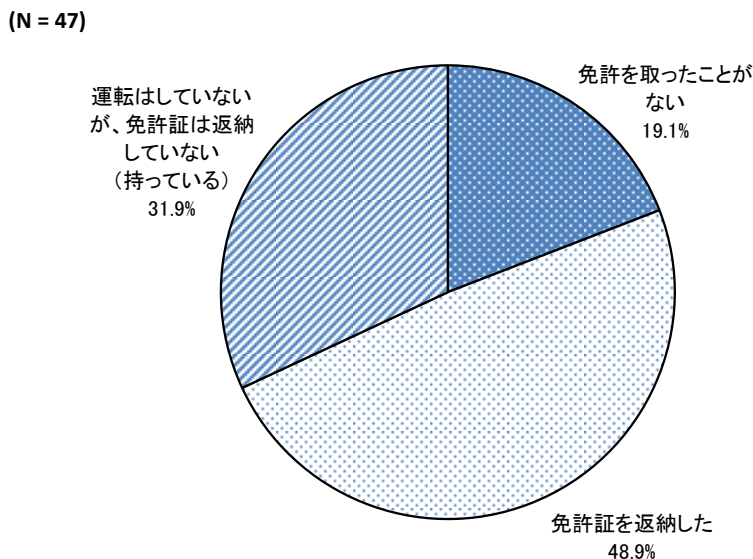
「運転していない」が 91.2%と最も高く、次いで「今までと同じように運転している」が 5.3%、「運転を制限している」が 3.5%となっている。



「運転していない」と回答した人の運転の状況は「免許証を返納した」が 48.9%と最も高く、次いで「運転はしていないが、免許証は返納していない(持っている)」が 31.9%、「免許を取ったことがない」が 19.1%となっている。

また、「運転を制限している」と回答した人は 2 名で、運転の状況は「やむを得ない場合のみ運転している」及び「常に同乗者を乗せて運転している」が 1 名ずつであった。

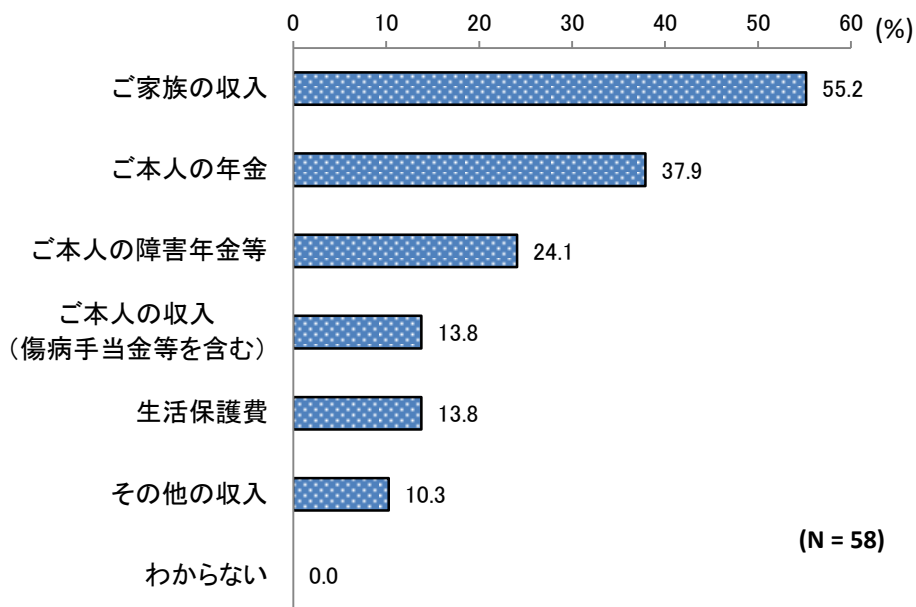
【「運転していない」と回答した人の運転の状況】



問 30 現在の経済状況について伺います。ご本人を含む世帯の主な収入は何ですか。

あてはまる番号すべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

「ご家族の収入」が 55.2%と最も高く、次いで「ご本人の年金」が 37.9%、「ご本人の障害年金等」が 24.1%となっている。



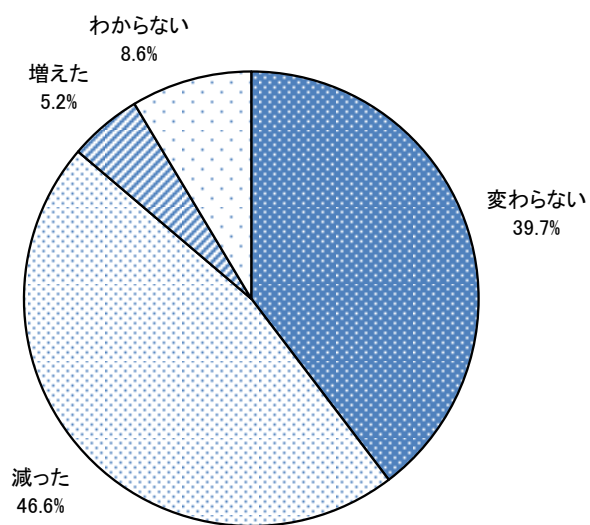
その他の収入

- ・ 母親の通帳から光熱費など引落とし。母親は施設入所中。
- ・ 家財売却、オークションにて日用品などを売払
- ・ 給与収入
- ・ 就労 B 型事業所賃金、1 日 500 円
- ・ 国民年金と厚生年金「夫」
- ・ 家族の年金

問 31 ご本人が、若年性認知症になってからの世帯の収入状況について、あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

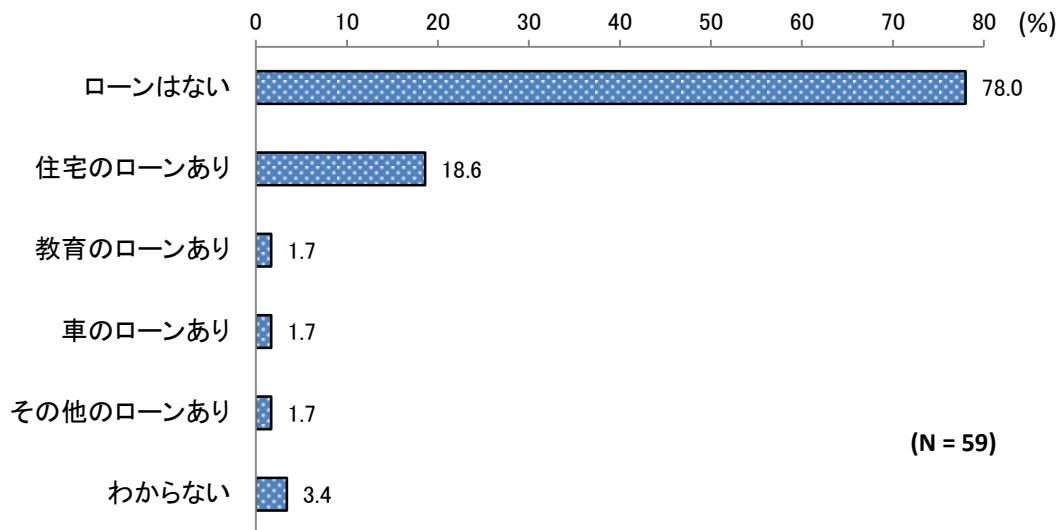
「減った」が 46.6%と最も高く、次いで「変わらない」が 39.7%、「わからない」が 8.6%となっている。

(N = 58)



問 32 現在、住宅等のローンはありますか。あてはまるすべての番号に○を付けてください。〈複数回答〉

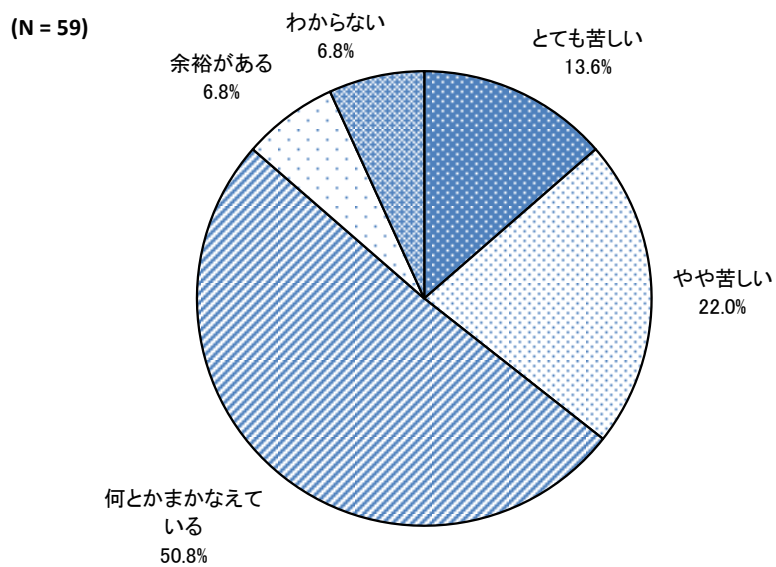
「ローンはない」が 78.0%と最も高く、次いで「住宅のローンあり」が 18.6%、「わからない」が 3.4%となっている。



その他のローン
・自己破産申請中

問 33 現在の家計について、あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

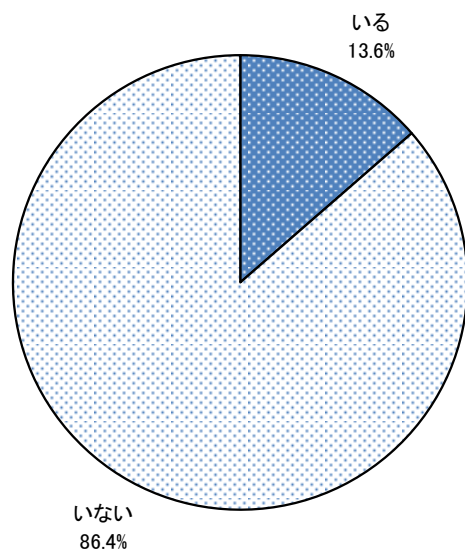
「何とかまかなえている」が 50.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 22.0%、「とても苦しい」が 13.6%となっている。



問 34 現在、養育を必要とする子どもはいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

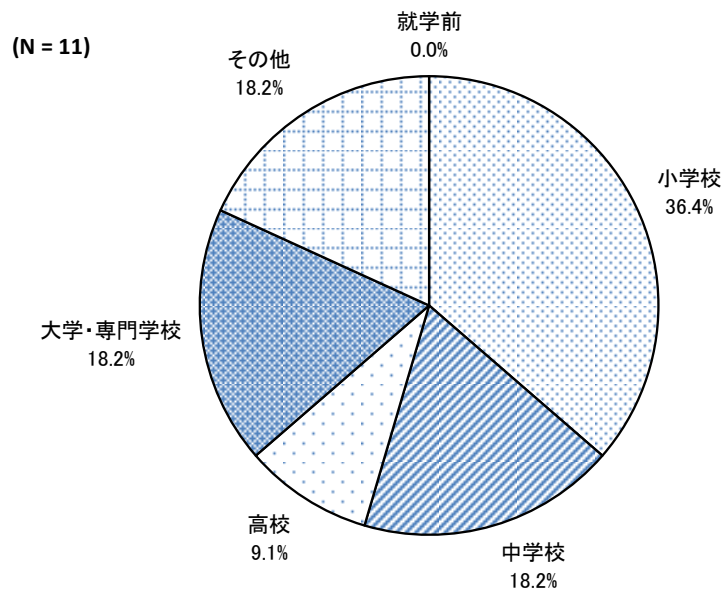
「いる」は 13.6%、「いない」は 86.4%であった。

(N = 59)



問 35 問 34 で「1. いる」と回答された場合、養育を必要とする子どもの就学状況について、あてはまるすべての番号に○をつけ、その人数を記入してください。〈複数回答〉

子どもの就学状況の割合は「**小学校**」が 36.4%と最も高く、次いで「**中学校**」、「**大学・専門学校**」及び「**その他**」が 18.2%となっている。

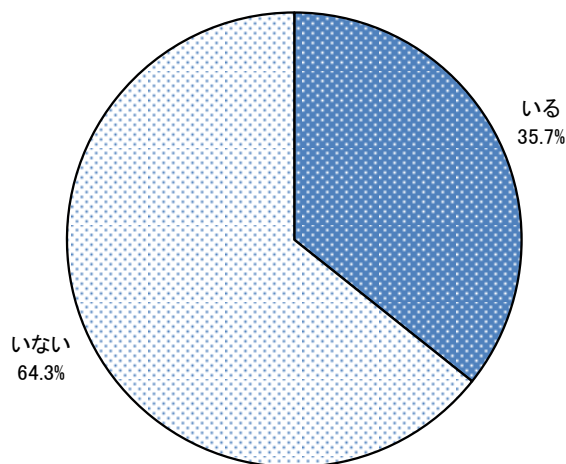


※すべての選択肢の人数欄の合計 11 名をもとに、各選択肢の人数の割合を算出した。

問 36 ご本人以外に、ケアや介護を必要とする人はいますか。

「いる」は 35.7%、「いない」は 64.3%であった。

(N = 56)



ご本人以外にケアや介護を必要とする人

- ・同居の長男もペースメーカーを入れている
- ・長男が知的障害
- ・長男（重度の発達障害）及び長女（統合失調症）
- ・実母（認知症）
- ・母親 90 代
- ・同居している母
- ・母が特養に入所している
- ・本人の母親が要介護 3 で特養に入所中
- ・母親が要介護 4 で特別施設に入所中
- ・義母
- ・自分も母も疾患を抱えている
- ・祖父母
- ・妻の弟（単身者）が末期ガンのため、東京まで行き、世話をしている
- ・母、弟。同居 3 人共アルツハイマー病。
- ・遠方に住む両親
- ・娘が夫の暴言（虐待）でうつ病になり精神保健福祉手帳を所持 3 級。現在、一時離職から社会復帰へのリハビリ中。夫のことで娘に、大変申し訳なく思っています。夫の病の遺伝性を心配しています。亡くなった義母も夫と同じ症状がありました。夫と結婚した時から当時 60 代だった義母はおかしかったように思います。
- ・本人の配偶者が末期ガン
- ・夫（要介護 1）
- ・父（病気で現在治療中）

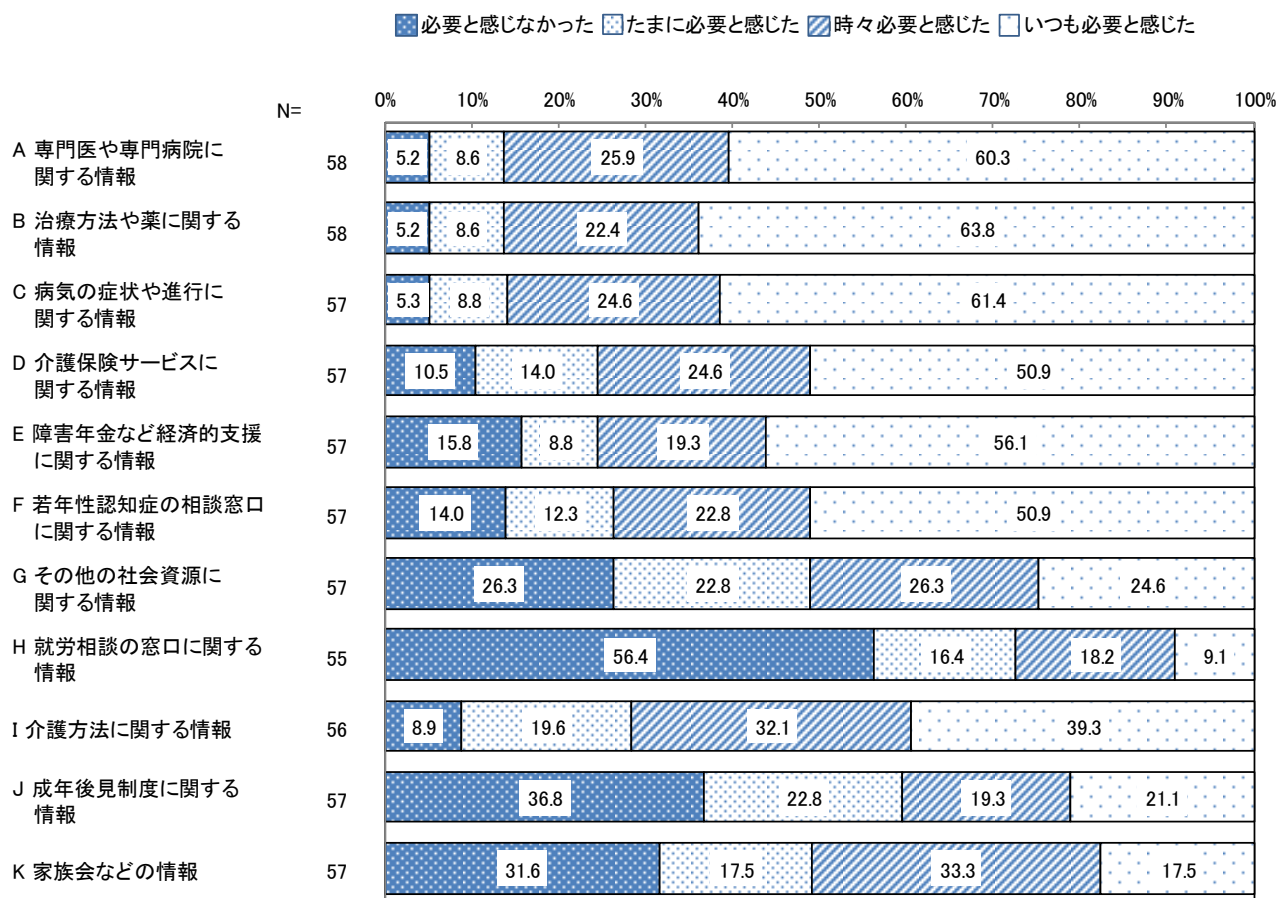
(2)－8 ご本人やご家族が必要と考える情報について

問 37 診断から治療、介護などで必要と感じた情報について、A から K の項目ごとに最もあてはまると思う番号に、それぞれ 1 つだけ○を付けてください。

【A 専門医や専門病院に関する情報】【B 治療方法や薬に関する情報】【C 病気の症状や進行に関する情報】は、「いつも必要と感じた」の割合が 6 割以上と他の項目と比べて特に高くなっている。また、「いつも必要と感じた」「時々必要と感じた」「たまに必要と感じた」を合わせた『必要と感じた』割合は、上記 3 項目に加えて

【D 介護保険サービスに関する情報】【I 介護方法に関する情報】で約 9 割となっている。

一方、【H 就労相談の窓口に関する情報】は「必要と感じなかった」が 5 割を超えている。



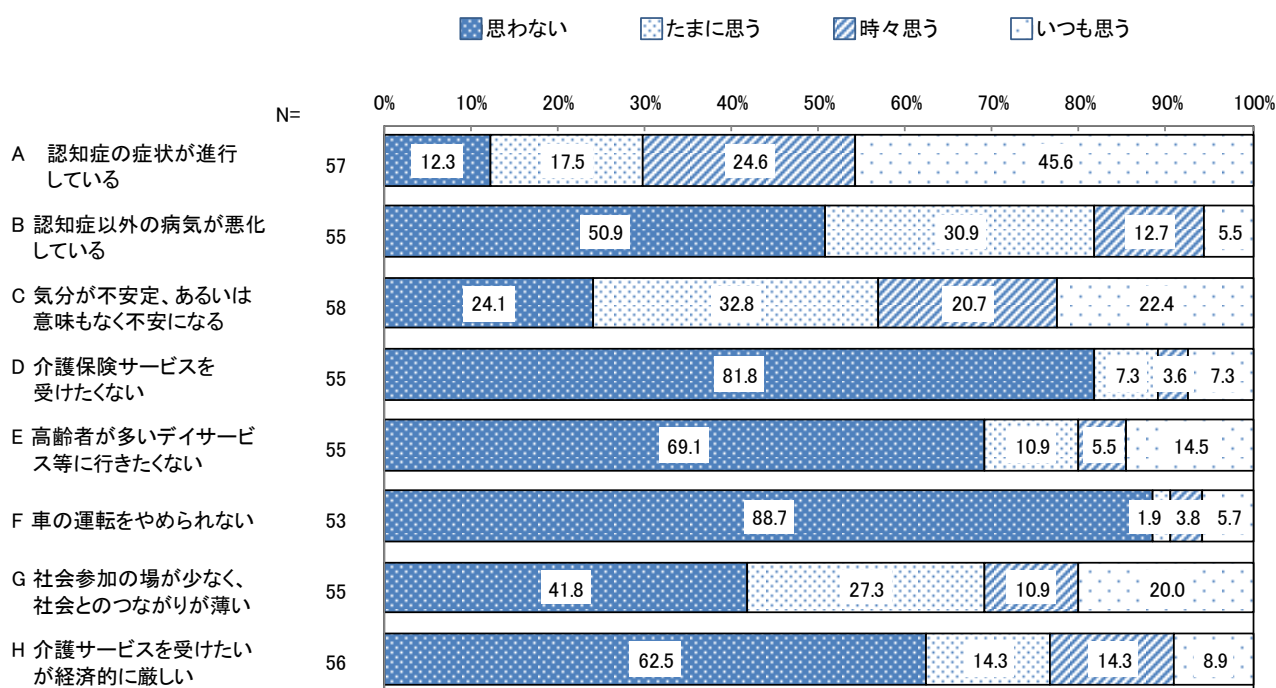
(2)－9 ご本人やご家族が考える暮らしの中での困りごとについて

問 38 現在、ご本人のことに関しての困っていることについて、A から H の項目ごとに、最もあてはまると思う番号に、それぞれ 1 つだけ○を付けてください。

1. ご本人に関すること

【A 認知症の症状が進行している】は「いつも思う」の割合が 45.6%と他の項目と比べて高くなっている。また、「いつも思う」「時々思う」「たまに思う」を合わせた『思う』割合は、【A 認知症の症状が進行している】が 87.7%と最も高く、次いで【C 気分が不安定、あるいは意味もなく不安になる】が 75.9%、【G 社会参加の場が少なく、社会とのつながりが薄い】が 58.2%となっている。

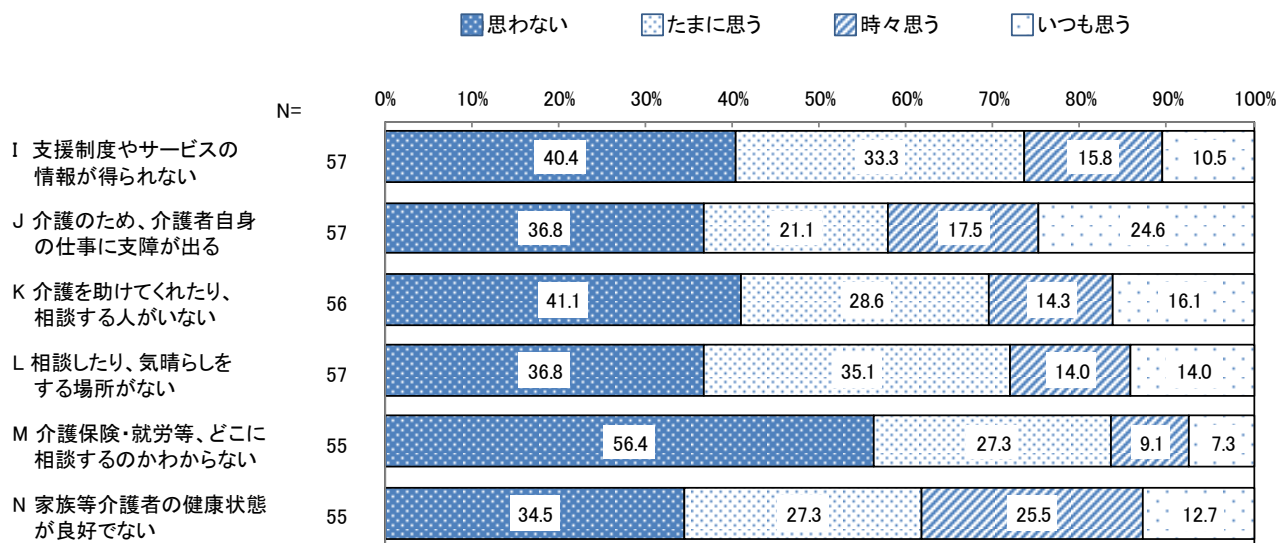
一方、「思わない」は、【F 車の運転をやめられない】が 88.7%と最も高く、次いで【D 介護保険サービスを受けたくない】が 81.8%、【E 高齢者が多いデイサービス等に行きたくない】が 69.1%となっている。



2. 家族等介護者に関すること

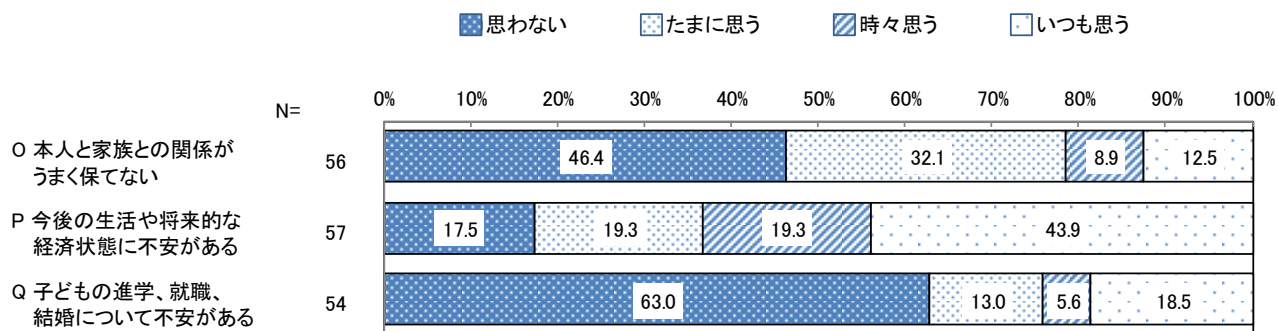
【J 介護のため、介護者自身の仕事に支障が出る】は、「いつも思う」の割合が 24.6%と他の項目と比べて高くなっている。「いつも思う」「時々思う」「たまに思う」を合わせた『思う』割合は、【N 家族等介護者の健康状態が良好でない】が 65.5%と最も高く、次いで【J 介護のため、介護者自身の仕事に支障が出る】が 63.2%、【L 相談したり、気晴らしをする場所がない】が 63.1%となっている。

一方、【M 介護保険・就労等、どこに相談するかわからない】は、「思わない」の割合が 56.4%と他の項目と比べて高くなっている。



3. 家族全体のこと

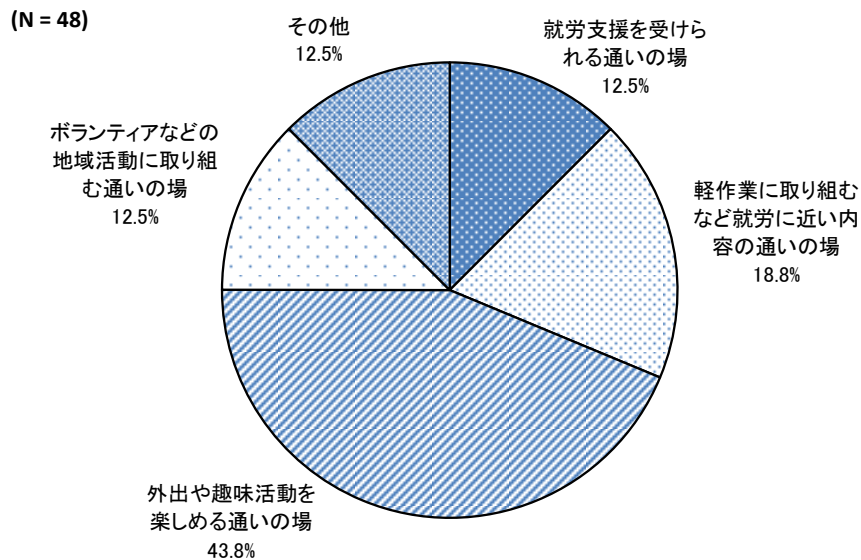
【P 今後の生活や将来的な経済状態に不安がある】は、「いつも思う」が43.9%と他の項目と比べて高く、「時々思う」「たまに思う」を含めた『思う』の割合は82.5%となっている。なお、『思う』の割合は、【O 本人と家族との関係がうまく保てない】では53.5%、【Q 子どもの進学、就職、結婚について不安がある】では37.1%となっている。



問 39 若年性認知症の方の通いの場として、どのような場が必要と考えますか。

最もあてはまると思う番号 1 つに○を付けてください。(主に若年層が通う場所を想定します。)

「外出や趣味活動を楽しめる通いの場」が 43.8%と最も高く、次いで「軽作業に取り組むなど就労に近い内容の通いの場」が 18.8%、「就労支援を受けられる通いの場」及び「ボランティアなどの地域活動に取り組む通いの場」がともに 12.5%となっている。



その他

- ・人付き合い、人間関係が苦手なのでどこかに通う事はだんだんストレスになってくる
- ・本人の気持ちが楽になる、カウンセリング等の場（家族も含む）